

## 式 辞

晴れて入学を許可された二百名の新入生の皆さん。入学おめでとう。また、保護者の皆様におかれましては、喜びもひとしおのものと、心よりお祝い申し上げます。

昨日までの冬のような寒さも温かい日差しになり、桜の開花もまもなくとなりました。

春の訪れが感じられるこのよき日に、鶴翔同窓会副会長 齋藤 正志 様、PTA 会長 匹田 久雄 様、後援会長 佐藤 喜代志 様、前校長 松浦 孝一 様をはじめ、多くの来賓各位のご臨席の元、山形県立鶴岡南高等学校 平成二十二年度入学式を挙行できます事は、

私たちにとりまして大きな喜びであります。

本校は、明治二十一年に創立され、以来百二十年を超える県内有数の伝統校であります。「自学自習」「文武両道」「質実剛健」を伝統的校風として受け継ぎながら、各界・各層で目覚ましい活躍を遂げている幾多の有意な人材を輩出し、今もなお、脈々とその伝統が受け継がれております。

新入生の皆さんは今日からその先輩・後輩という強い絆で結ばれた鶴岡南高校の一員となるのです。

本校での第一歩を踏み出すこのときに当たり、教職員を代表して、また、一人の先輩として、歓迎と激励の言葉を申し上げます。

「決意する」 決意すれば「心が変わる」

心が変われば「行動が変わる」

行動が変われば「習慣が変わる」

習慣が変われば「人格が変わる」

人格が変われば「運命が変わる」

大リーグで活躍中の松井秀喜選手の高校時代の監督の言葉と聞いておりますが、

「自分はこうなりたい」と決意することによって、「自分の運命を切り開くことができる」と言う内容です。今の松井選手の活躍は高校時代の「決意」にあったと言えます。

昨日までの自分に満足することなく、三年後に「こうなりたい」と、今日決意することを願って、式辞といたします。

平成二十二年四月八日

山形県立 鶴岡南高等学校長 田中 芳昭